写

伊教教第１３４号
平成３０年８月８日

伊東市教育問題懇話会　会長　様

伊東市教育委員会
教育長　髙　橋　雄　幸

伊東市立小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方について（諮問）

伊東市教育委員会では、「夢や希望を育む学校」を目指す学校像として掲げ、それぞれの教育環境に応じて充実した学校教育に取り組んでいます。

しかし、全国的な少子化によって児童生徒数は減少の一途を辿っており、特に本市の小学校では、クラス替え可能な１学年２学級以上の学校が５校ある一方で、１学年１～２学級が２校、全学年単式学級（１学年１学級）が２校、複式学級を置く学校が１校となっている等、学校の小規模化が進行しているのと同時に、学校間の規模の差も顕著になっており、今後ますます学校における教育や生活、さらには学校運営など様々な面に影響を及ぼすことが懸念されています。

また、PTA、校長、区長等、様々な学校関係者から構成される市立学校・園適正規模及び配置検討委員会からは、今後の学校規模・配置の適正化に向けた意見を建議書にまとめ、教育委員会に対して「具体的な統廃合の検討について、今から手を打っていかなければ遅い」等の提言をいただいております。

このような状況の下、総合教育会議での市長との協議を経て、伊東市教育委員会では学校統廃合及び学区の見直しを含む教育環境の適正化に速やかに着手すべきと判断し、下記事項についてご審議の上、答申を願いたく諮問いたします。

記

１　諮問事項

伊東市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する以下の２点

⑴　伊東市教育委員会が目指す学校像「夢や希望を育む学校」の実現に向けた適正な教育環境のあり方

⑵　当該教育環境の実現を図るための具体的方策（速やかに対応すべき内容と長期的に対応すべき内容）

２　答申希望時期

平成３１年２月末

以　上